

提供日 2017/07/06
 タイトル マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！
 担当 危機管理部 危機報道監
 連絡先 健康福祉部 医療健康局 疾病対策課
 くらし・環境部 環境衛生科学研究所 微生物部
 TEL 054-221-2986（疾病対策課）
 054-245-2146（環境衛生科学研究所）



- 危機管理情報 -

マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！
～県内で「日本紅斑熱」が発生しました～

1 「日本紅斑熱」の患者発生について

熱海市内の80歳代の女性が6月23日に発熱・発疹等により熱海保健所管内の医療機関に入院、日本紅斑熱の疑いがあったため、環境衛生科学研究所で検査したところ、6月30日「日本紅斑熱」陽性と判明しました。患者は、6月中旬頃、本疾病病原体を保有するマダニに刺咬されたことにより感染したと推定され、現在、症状は回復しており、退院しています。

2 日本紅斑熱とは

日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有するマダニに刺されることで感染し、**重症化すると死に至る**こともある感染症で、**過去に県内でも患者が発生しています**。また、県環境衛生科学研究所が実施した**マダニの調査**においても、**採取した複数のマダニから、日本紅斑熱リケッチアが検出**されています。

3 感染経路

- 病原体を保有している**マダニに刺されることで感染**します。
- **人から人へ感染して広がるものではありません。**

4 症状等

- マダニに刺されてから2～8日で、**高熱、発疹**を呈し、重症化すると死に至ることもあります。
- **治療の第一選択薬はテトラサイクリン系抗菌薬で、ニューキノロン系抗菌薬が有効**という報告もあります。

5 注意喚起

(1) マダニに刺されないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、**春から秋にかけて注意が必要**です。
- **レジャーや農作業などで、野山や草むら、畑などに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なく**してください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありませんが、虫よけ成分（ディート）が含有されているツツガムシ用の忌避剤を使用することで一定の効果が得られることが確認されています。ただし、ツツガムシ用の忌避剤で、マダニを完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましよう。

(2) 屋外活動後は、マダニに刺されていないか確認しましょう！

- マダニに刺された場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱等の症状が見られたら、**早めに医療機関を受診**し、マダニに刺された可能性があることを伝えましょう。

6 過去5年間の患者数（人）

平成29年は7/2時点

年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
全国	171	175	241	215	276	93
静岡県	0	1	0	2	2	1
静岡県内患者の住所地	-	伊豆の国市	-	沼津市 伊豆の国市	沼津市 伊東市	熱海市

